

元気で歩こう会

ホーム 基本情報 活動紹介 おしらせ 問い合わせ

元気で歩こう会 たての緑道(戦時下の鉄道軌道跡)を歩く



たての緑道…昭和19年の戦時下に、東久留米駅から中島航空金属(現西東京市の住友重機工業)まで、原材料などの運搬用に鉄道の引込み線が敷設された。その跡を歩いた。

市民プラザ ⇒ いこいの水辺 ⇒ たての緑道 ⇒ 南部地域センター ⇒ 立野川源流 ⇒ 南沢緑地保全地域 ⇒ 市民プラザ 約5キロ

今回で40回。よく歩いたものだ。



引込み線の軌道跡の築堤から落合川を挟んで、



橋脚の後が見られる軌道は、



このあと、たての緑道を通ってひばりが丘団地内の中島航空金属の工場へと続く。



南部地域センターで小休止の後、昨年から住みついだビオトープのカルガモを見ながら、何気なく目を横に向けると…



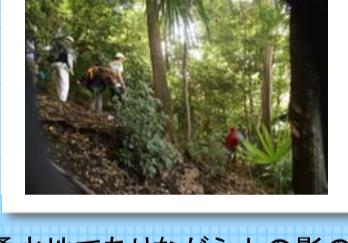
稻刈りも済んだ田園風景が、まさか団地内で見られるとは思はなかった。
昨年のウォークの時は、たわわな実りの秋であったが…



団地を抜けたところで奇妙な樹木に出合う。道路のほぼ中央にあるというか、伐採せずに残してあるというか…
聞くところによると、団地建設の昭和30年代始めの造成の時から残っているそうである。環境保全か、交通の障害か、歩きながら仲間たちの議論が続く。



本日、第2の目的地である立野川の上流である。
途中、大人もジャレたくて素通りできない遊園地？もある。



湧水地でありながら人の影のない、いわば秘境である。



氷川神社そばの湧水群や竹林公園の湧水に引けをとらない。



立野川の源流である。元国有水路で貴重な湧水が現存している。民有地に囲まれていて、入りにくく、人の目に触れにくい場所ではあるが、水と緑の東久留米にとって大切な資源。
これから脚光を浴びて、訪れる人も多くなる事を期待しながら、みんなで注意し合って保全していくべきであろう。



なじみの南沢緑地保全地域の湧水群にやってきた。



恒例の集合写真である。

10月18日(土)は、いよいよ、玉川上水下りである。初回は羽村の堰から拝島まで。

11月13日(木)はJCOMと共に手塚治虫80年記念ウォーク“東久留米から新座まで”を歩く。詳細は後日くるくるで。